

エンタープライズAI

PROVISION 95号 コンテンツ・リーダー

日本アイ・ビー・エム株式会社
研究開発
シニア・ソフトウェア・エンジニア
IBMアカデミー・オブ・テクノロジー・メンバー
IBMマスター・インベンター



大谷 宗孝 Munetaka Ohtani

MIT Sloan Management Reviewが2017年に行ったスタディー「Reshaping Business With Artificial Intelligence」[1]で実施した、グローバルの3,000名以上のエグゼクティブ、マネージャー、アナリストを対象にした調査によると、75%がAI技術により企業の新しいビジネスへの移行が可能になると考え、85%がAI技術により競争力の獲得または維持を可能にすると考えています。その反面、AI戦略が導入されている企業は全体の39%未満にすぎず、オフリングまたはプロセスで部分的にAIを導入した企業は1/5、広範囲に導入している企業は1/20という状況が明らかになりました。では、なぜAIの導入にまで至っていないのでしょうか。そこにはエンタープライズ特有の難しさがあります。

IBMが2018年9月に発表した企業のAI活用に関する調査レポート「エンタープライズAIへのシフト」[2]では、企業が考えるAI導入の懸念点を2016年調査時の結果と比較して、非常に興味深い事実を明らかにしています。最も多くの方が懸念点として挙げていたのが、「スキルのあるリ

ソースまたは技術的スキルの入手可能性」で63% (2016年比+20%)で、次に「法規制上の制約」が60%(+31%)、「データと情報の使用にあたってのプライバシーの懸念」が55%(+19%)と続きます。一方で、「テクノロジー入手可能性」は大幅に下がりました。

これら2つの調査の結果から、企業の関心は、「AIを導入するべきかどうか」から、「どのようにしてAIを導入するか」にシフトしていることが読み取れます。日本でも、多くの企業がAIを自社のビジネスで活用したいと思っている一方で、導入のためのスキルや人材の不足、全社的なデータ・ガバナンスの難しさを感じています。その背景には、AI人材育成の難しさ、AIのブラックボックスの性質やバイアスの問題、複数のAIを導入することで生じるシステムの複雑化、データ整備、AIガバナンスの仕組み作りなど、技術的にも体制的にもさまざまな問題があるためです。

本号では、「エンタープライズAI」と題して、企業のAI導入に伴うさまざまな課題に対する



IBMの取り組みや解決策、そしてお客様企業におけるAIの取り組み事例について紹介します。

また、企業がAIを導入する際の課題解決にはテクノロジーも必要です。IBMの人工知能への取り組みは古くから行われており、その始まりは「人工知能」という言葉がこの世に登場した1956年のダートマス会議までさかのぼります。その3年後に世界初の学習型プログラムによりAIの基本的概念をいち早く世界に示したのもIBMの計算機科学者でした。それから60年以上もの間、AIの研究開発を続けてきました。今日のIBMのAI関連の特許ポートフォリオは非常に強く、2位以下を大きく引き離しており[3]、テクノロジーの優位性はこれからも続いていくものと思われます。特集の後半は、最近IBMが研究・開発を進めるAI技術のいくつかを取り上げます。

今回の特集の限られたページの中でIBMにおけるコグニティブ・コンピューティングやAIへの取り組みを全て紹介することはできません。例えば、IBM Watsonについての話題は、83号や90号のコグニティブ特集で取り上げましたので、

今号では割愛します。企業全体でのAIの導入を考えた場合、結果として「マルチAI」という考えに至るはずです。すなわち、IBM製のソリューション提供だけでなく、オープンソース・ソフトウェアの活用や他社のAIを含めて考えていくことになります。その際にも参考にできる内容を意識しました。

今回の特集が、企業の戦略的なAI技術の活用を推進するIBMのさまざまな取り組みを知っていただく一助になり、読者の皆様とともに企業全体でデータとAIの本格活用が進むデジタル変革の「第2章」を作り上げていくきっかけになれば、大変有意義だと考えています。

[参考文献]

- [1] MIT Sloan Management Review, Reshaping Business With Artificial Intelligence, <https://sloanreview.mit.edu/projects/reshaping-business-with-artificial-intelligence/>
- [2] IBM : IBM Institute for Business Value , エンタープライズAIへのシフト, <https://www.ibm.com/common/ssi/cgi-bin/ssialias?htmlfid=73022873PJJA>
- [3] WIPO Technology Trends 2019, Artificial Intelligence, https://www.wipo.int/edocs/pubdocs/en/wipo_pub_1055.pdf